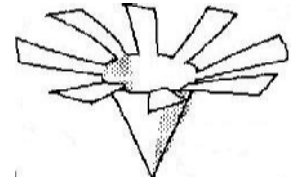


飛ばしてあそぼう おうちでトライ！ 「紙っペラ・パラシュート」

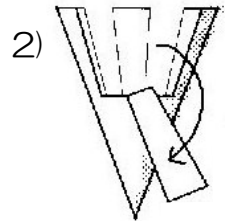
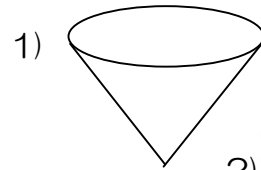
注：飛ぶタネの模型ではありません。



「飛ぶたね」の中には羽があり、回転しながら落ちるものがあります。
羽があるとどうなるのか、紙っペラ・パラシュートで比べてみよう！

作り方

- 1) 下の図(A,B)を切り抜き、丸めてのりやテープで止めます。
- 2) Aは羽なし、Bは羽をつくります。
Bの羽は同じ向きにななめに折り目をつけます。
(右図)
- 3) Bの羽を開いてできあがり(右図→)。



★2つの紙っペラ・パラシュートを同時に落として、
落ち方を比べてみよう。

！ポイント！ 風の無いところで落とそう。背の高い人に落としてもらうといいよ！
ひろげた羽の部分を持って落とすといいよ！

(解説)

植物は仲間をより多く増やすために、タネを遠くに飛ばす工夫をするようになりました。タネを少しでも遠くに、また確実に運ぶために羽をつけ、その形をグライダーや、ヘリコプターのように変えてゆきました。紙っペラ・パラシュートでは、羽をつけることで回転し、落下する時間がのびることを確かめてみてください。

また、自分で自由に羽の形や枚数、丸め方を変えて、よく回転するものや、ゆっくり落ちる形などを工夫して楽しんでいただけたらと思います。

参考文献：子供の科学 2000年11月号

